

〔科目名〕 卒業研究	〔単位数〕 4単位	〔科目区分〕 卒業研究科目
〔担当者〕 三浦英樹		〔授業の方法〕 演習

〔演習テーマ〕
「自然地理学と歴史学の視点から自然と人間の関係(環境史)を探り、地域創造について考える」

- ① 現在の人類の位置づけを知り、自然と人間の相互関係について考えること
- ② 持続可能で豊かな社会を作るために自然を生かした技術や文化について考えること
- ③ 人間がもともと持っていた生態知、在来知、暗黙知を再評価し、現代の地域社会への活用について考えること

〔演習内容〕
前年度までに作成した卒業論文の研究課題と研究計画案に沿って論文執筆および口頭発表の指導を行う。

〔科目の到達目標〕
これまでの講義や演習、フィールドワークの成果に基づいて、自ら問いを立て、問いを解くために必要なデータを収集し、その結果を図表として取りまとめ、論理的に考察を行うことで、立てた問いに答えるかたちで卒業論文を執筆すること。また、その内容を他人にわかりやすく理解できる形で口頭発表を行うこと。

〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕

学部				学科		
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3
○	○	○	○	○	○	

〔前提条件〕

- ・風景(地形)や自然環境の成り立ちに強い興味・関心がある人、自然が大好きで山や森に出かけたいという志向がある人、自然の成り立ちと関わる人々の歴史や伝統文化・技術・文学・芸術等に興味がある人、地図を読むことが大好き(になりそう)という人。
- ・① 対象とする地域の自然の成り立ち、自然と関わる人々の歴史を明らかにして、それらを人にわかりやすく説明する意欲があり、② その知識を、地域の魅力や資源、コミュニティ作りに繋げていくアイデアの創出を楽しめる人。
- ・難しい数学や科学の知識は必要ないが、それらの説明を理解しようと前向きに取り組める人、野外を長時間歩いたり、穴を掘ったり、崖を記載したり、植物を丹念に調べて地図に落とす、顕微鏡観察など、泥臭い仕事を黙々と根気強く行う能力を持っている人。
- ・多くの本や論文等の文献をきちんと読んで、まとめて発表できる意欲と能力がある人。あるいはそれを身につける努力をいとわない人(ゼミ内での発表・報告の頻度が高く、時間的負荷が大きいため、他にやりたいことがある場合は、避けて下さい)。
- ・下記のテキストの他に、演習やフィールドワークで必要となる「地形を感じる3D 地図アプリ『スーパー地形』」(iOS 版:960 円、Android 版:年間 750 円、パソコン版:年間 1680 円)を購入してもらうので、それが可能な人。
- ・3年次までに、教養科目「地球科学」、専門科目「地形地理情報論」、専門科目「自然誌・地理情報と地域創造」の講義を履修していること。

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

卒業論文の内容、口頭発表およびそこに至るまでの取り組み状況にもとづいて総合的に評価する。

〔教科書等〕

なし

〔実務経歴〕

なし

授 業 ス ケ ジ ュ ー ル

時期	テーマと内容
第 1 回	テーマ：卒業研究の報告
～	内容：卒業論文作成の進捗状況についての報告を行い、研究内容について議論を進める。論文の
第 30 回	執筆と口頭発表について指導する。